



「86さっぽろ花と緑の博覧会」の協賛イベント「あまトピア麻生」の看板が掲げられた「あさぶ商店街」事務所。その後のビル開発で、隣りの美容室も喫茶店も麻生を離れ、街路樹も今はありませんが、四半世紀前の丘珠通りです。5又路では昔の麻生を探しています。写真や資料の提供をお待ちしています。



○振り込め詐欺・架空請求・訪問詐欺商法にご用心！おかしいな？と思ったら、誰かに相談！

完成間近か!麻生名物・亜麻そば乾麺

あさぶ商店街が昨秋から取組む「麻生ブランド開発事業」は、「あさぶ亜麻そば祭り」の主役「亜麻そば」を麻生独自の名物にと目指しています。平成23年度「全国商店街実践活動事業」の指定を受け、留萌市・(株)フタバ製麺に乾麺の試作を依頼、これまでに2回の試食会で得た参加者の評価意見を参考に完成へと向っています。

事業を担当する原田副理事長(原田歯科院長)は、「地域の方々に歓迎される名物になって欲しいです。お土産に使って戴いたり、飲食店の新たなオリジナルメニューの食材になれば嬉しいですね」と抱負を話してくれました。

奇しくも亜麻栽培30年を迎える年にお披露目する「亜麻そば乾麺」。初めての栽培を心配しながら見守り、開花に歓声を挙げた当時理事者の大半は鬼籍に名を連ねますが、きっと喜んでいることでしょう

完成発表会は下記日程を予定しています。一人でも多くの地域の方に味わってみたいと思います。

麻生ブランド開発事業「亜麻そば乾麺」発表会

日時：2月5日(日)、11時から13時
 場所：麻生地区会館
 (北39西5・麻生総合センター2階)
 参加料：無料*事前に整理券をお求めください
 申込み：あさぶ商店街・TEL707-9923

食べて応援しよう!「福島物産展」

(農水省キャンペーン協賛企画)

未だに続く震災余波のニュースに胸が痛みますが、少しでも力になりたいと取組んだ「福島県物産展」は、7月のダイエー前、8月「あさぶ夏祭り」会場、9月「あさぶ亜麻そば祭り」会場の3ヶ所で実施いたしました。

皆様の心強い声援と協力を戴きました売上金の一部は「いわき市商工会議所」に義援金として寄託しましたが、被災地の方々の日でも早い復興と元気回復を願うとともに、ご支援戴いた方々に厚く御礼申し上げます。

あさぶ商店街クーポン券付きPR誌『あさぶギ』第2弾発刊!組合参加店で配布しています。

「来い・恋商品券」間もなく終了します!

震災地への復興支援を願う「あさぶ商店街限定プレミアム付き来い・恋商品券」は10月15日に発売を開始、石狩や篠路などの方にもご活用戴いています。商品券は①ダイエー麻生店、②Cafe 亜麻人、③ミサワ洋電の3ヶ所で購入、下記の38店でご利用戴けます。目標の2万枚を完売時点で発売終了となりますが、利用期間は1月31日までとなっています。この機会に、1,000円で1,100円の買出し物が出る「あさぶ来い・恋商品券」を是非お買い求めください。尚、売上げの一部は義援金として「いわき市商工会議所」に寄託いたします。

《利用できる店》

◇居酒屋とり千、◇麻生ポプラ薬局、◇Cafe 亜麻人*以上、麻生6◇つば八麻生店、◇プロローグ、◇菓子の樹、◇チャンドニー華麗ばあ、◇エンパイア麻生店、◇ビューティークラブBIJIN、◇MIPROS、◇九兵衛麻生店、◇渡会商店麻生店、◇やきとり今昔、◇そば膳、◇味処・北の酔族歡、◇やきにく舎・太好了、◇ごはんば一桜 CHOPS、◇鳥蔵、◇いち善、◇グラムヘアー麻生店、◇カイロプラクティック Recover、◇マドラインヴォイスアンドコー、◇ミサワ洋電、◇エンパイアミサワ店*以上、麻生5◇北のさかな家海さくら*以上、麻生4◇高田屋麻生店、◇epice by Limage、◇理容やまうち、◇藤井理容院、◇ギャラリーショップ&カフェぶらり*以上、麻生3◇善光堂・福田仏壇店、◇ファミリーレストランとんでん*以上、北40西6◇早川商事、◇福猫茶房、◇笑福、◇FUJIYAMA ROCKET*以上、北40西5◇富士メガネ麻生店*以上、北40西4◇ダイエー麻生店*以上、北39西45店を利用するスタンプラリーにもご参加ください!もれなく記念品を進呈します。スタンプラリー用紙は発売所にあります。若しくは、チラシ裏面をご覧ください!

「来い・恋商品券」のご利用について

- 商品券は額面1,100円を1,000円で、一枚単位でお求め戴けます。
 - 発売は2万枚の予定枚数を完売した時点で終了とします。
 - ご利用期間は、1月31日まで有効です。
 - お一人の1回購入限度額は50枚・50,000円といたします。
 - 商品券の利用は参加店に限り有効とし、下記商品は対象外といたします。
 *換金性があり、広域的に流通する商品券や切手・ハガキ・印紙など
 *宝くじやプリペイドカード・公共料金の支払いなどの他参加店が指定する商品
- 大切なお知らせ!今春購入された未使用の商品券をお持ちの方は、ミサワ洋電で新たな商品券にお取替えします。

YOSAKOIソーラン祭り 麻生会場撤退のお知らせ

これまでご声援戴きました皆様には誠に申し訳ないお知らせとなりますが、「YOSAKOIソーラン祭り」麻生会場の開催返上を謹んでご報告申し上げます。

今や札幌の初夏を告げる祭りともなりました「YOSAKOIソーラン祭り」。麻生会場は交通アクセスに恵まれた立地を活かし、地域コミュニケーション醸成や活性化を共に願う地元町内会との協働催事として、多くの協賛企業や関係行政などの力強い支援協力を戴きながら、地域へ愛着を寄せる150名を超えるスタッフとの手づくり運営に取り組んで参りました。

全国各地から来演されたチームとの交流や無事故運営を合言葉に取り組んだ15年に及ぶ思い出は尽きませんが、祭りのテーマである感動と興奮を共有させて戴いた観客の皆様とスタッフ、そして、特段のご高配を賜りました麻生球場はじめ行政機関や協賛戴いた事業所各位と関係者の皆様から心からの感謝と御礼を申し上げます。

今後再開の可能性も閉じる決断は誠に残念であり、数え切れない多くの方々との触れ合いの場面が浮かんで仕方がありませんが、これまでにお寄せ戴いた皆様からのご厚情を忘れることなく、地域に密着する商店街づくりを目指して、より一層の事業活動に取り組んで参る所存でございます。

今後とも、あさぶ商店街に対しまして、変わらないご声援を賜りますようお願い申し上げます。

麻生商店街振興組合・理事長 永倉吉裕

麻生会場の思い出

○初開催はJR新琴似駅前とダイエー麻生店前広場に本場「高知よさこい祭り」の王者「セントラルグループ」と地元「FLAX麻生」の2チームによる競演でした。会場の駅前通りもダイエー前にも溢れんばかりの観客が集まり、涙を浮かべて感動する方々の光景があちこちに見られ、「麻生球場」を会場にする本格開催へと導きました。

○麻生球場を管理する教育委員会の関係者に「YOSAKOIソーラン祭り」の経緯や街活性への波及効果を説明、地元の「麻生町北町内会」にも快諾を戴いて正式に開催した1997年6月7日は曇りで翌日は晴れの天候。麻生会場の元気なイメージを宣伝しようと企画した北海道銀行麻生支店の懸垂幕や街頭放送の広報が功を奏したのか、観客数は3万人を超え、迷子の騒ぎもあるなど盛況裡に終えました。

○駐車場所やトイレ設備で苦心する会場が多い中、交通アクセスも利便な麻生球場は踊り子チームにも快適な会場でした。芝生席やベンチ席で座って見学が出来、他会場で断られた車椅子の方やシルバー施設の団体見学も受入れ、踊り子休憩場所や交流広

場・緑日コーナーも喜ばれるなどなど、地元スタッフによる手づくり会場の評価は今でも自慢です。労いの言葉と氷で冷やした冷水で接待した女性部の笑顔と励ましも踊り子さんに好評でした。

○本来は野球専用の施設にも関わらず、開催に理解を寄せて戴いた30余りの野球連盟の皆様と大音響の迷惑にも我慢を戴いたご近所の方々には感謝の言葉も見つからないほどです。午前中の野球試合が長引いて、競演の途中にファールボールが2度飛び込んできましたが、大事にはならず会場を警備する「麻生地区防犯協会」のメンバーと胸をなでおろしたことも懐かしい思い出です。大通り会場の爆発事故を契機に、厳しくなったゴミ箱の監視や搬送にも同協会スタッフが果たした役割は特筆されます。



○会場準備は毎年2月下旬からスタートです。4月の抽選会で決まった来場チームとの打合せが繰り返され、管轄する北警察署への警備計画書提出や参加スタッフ会議などを経て当日を迎えます。朝早くから担当毎に準備作業が慌しく始まりますが、警備スタッフは不審物点検や事故防止に備え、進行や接待スタッフは来演するチームが予定通りに来ることを願いながら、途切れない緊張のままに予定の競演パレードが終えてしまいます。

○麻生会場が目指したのは、踊り子競演の他にも楽しんで戴ける手づくりの祭り会場です。地元の「あさぶ太鼓」や教室を主宰する藪田建吾さんのギター演奏日本一の響き、小学生の頃からお馴染みの原陽介君の津軽三味線、「創成高校」のバンド演奏や学田西町内会で「スタジオHIGUCHI」を主宰する樋口ご夫妻にはエアロビック日本一の演技も披露して戴きました。「えべつ北海鳴子踊り」のチャンピオンチーム「台風一家」の目出度い踊りやサンバグループ「ウルソ・ダ・フロレスタ」の軽快な演奏を覚えている方も少なくないでしょう。

○予定は未定と言いますが、当日のプログラムは正しくその通り。念入りな準備が吹き飛んでしまうハプニングは毎回のことでしたが、競演を途切れさせない麻生会場の秘訣は進行スタッフが必至の頑張りでした。当意即妙のアナウンスが踊り子さんの興奮を適度に抑え、観客の励ましが嬉し

第20回あさぶ新春ボウリング大会

地域の方と商店街が交流を深める新春ボウリング大会は、「5又路」主催から商店街に継がれて20回の節目となります。腕前よりもラッキー抽選会を期待して、運動不足の解消も兼ねてご近所お誘い合わせてご参加ください。恒例になった「タラバガニ」が今年こそ、当りますように！

日時：1月29日（日）朝9時スタート
場所：ディノスポウル（北40西4・東光ストア東隣り）

参加料：2,000円*小学生まで1,000円
競技：2ゲーム、男女別個人戦*小学生と65歳以上ハンデ10

表彰：男女別1～3位*ハイスコア賞、ブービー賞、飛び賞など

抽選会：タラバガニ5本プラス2本ほかハズレ無し
申込み：お名前・連絡先などをあさぶ商店街まで

栽培30年を記念する亜麻花壇完成

繊維を採る「亜麻」は一年草の畑作物ですが、同じ畑での連作を最も嫌います。種の保存も兼ねて「麻生緑地」花壇に土替えや肥料配合を工夫しながら栽培していますが、花壇の増設は生育不良を見る度の念願でした。

でも、今夏には「ふらつくす倶楽部」メンバーが手づくりの花壇に可憐な開花が見られそうです。麻生連合町内会・大門隆司会長の骨折りと商店街の応援で完成した花壇に「あさぶ亜麻保存会」が30年目の種を蒔きます。

暖かくしています!

地域貢献を願って設置した温水便座付「水洗トイレ」は冬も快適と好評ですが、ベビーベッドを備えた場所にも、オムツ交換のときに赤ちゃんが風邪をひかないようにと暖かです。北海道銀麻生支店からJR新琴似駅方面に御用の際はお気軽にご利用ください。地下鉄一番出口の北隣りにある駐車場の正月休み（12月31日～1月3日）以外は8時～24時迄お使い戴けます。

あさぶ亜麻保存会会員募集中

麻生町の歴史を伝える亜麻の開花を愛でながら、一人でも多くの人に亜麻を知ってもらおう活動を通して街づくりに役立ちたいと発足しました。亜麻の生育と継承を一緒に楽しみませんか？

◎個人年会費：1,000円
◎団体・企業年会費：一口2,000円以上
*入会ご希望の方は事務局・喜多まで

TEL 728-3700
(三代交流広場・Cafe亜麻人)

かったとの感想も沢山戴きました。一番慌てたのは「新琴似天舞龍神」の約50分の来場遅れでしたが、観客の皆さんもスタッフの一員だと痛感させられた嬉しい場面は忘れません。

○多いときで187人のスタッフが麻生会場を支えてくれましたが、給水接待係りの「連町女性部」の面々と周辺道路を警備する「麻生地区交通安全実践会」・緑日スタッフは競演場所から離れているため、話題のチーム演舞もゆっくりと見ている暇がありません。2日間を終わって、無事故の報告に歓声を共にしながら酌み交わす慰労会がもう一つのコミュニケーション行事ではなかったでしょうか。いづれにしても、平均3万人以上の来場者を迎えて無事故で終えたことは、麻生への愛着を結集させたスタッフ全員の誇れる証です。ありがとうございました！



麻生会場集計メモ

- ★開催回数：15回*JR新琴似駅前とダイエー麻生店前会場を含む
- ★来場者数：497,048人
*シルバー・車椅子：846人を含む
- ★出演チーム：742チーム
*市外：426、市内316
- ★踊り子人数：51,571人
- ★会場スタッフ：2,041人
- ★事故事件：無し、迷子：10件、落し物：75件、救護：32件、苦情：12件

俳花壇

《東鉄幹》

今年藁足にからめて馬眠る
深雪に十勝の畑の広ごりぬ
声あげて初雪を踏む下校の子
電飾の街をゆるがす冬の雷

《亜矢女》

月食の仄かに赤し冬銀河
短日の河口に尖る片男波
バレエの子白き息してアラベスク
火柱となりし湖畔の蔦紅葉



外気温-4℃以下は凍結注意！水道に関する問合せはTEL 211-7770（24時間無休）へ



24時間病院案内TEL 0120-1208-699 北海道救急医療情報案内センター

男の一人言「500円ものがたり」

「歯科医師はミタ」。歯科医院を開業して30年、患者さんの人生を垣間見してしまう事がある。患者Kさん75才、男性の話しをしよう。

K氏は定期健診に真面目に通う患者さんだった。男前でダンディで職員にも人気があった。そのK氏はやがて咽頭癌を患い声帯を失ってしまった。酒と煙草が好きと言っていたが…、それが原因なのか定かではないが…、本人は無念だったろう。それから癌が転移して入退院をくり返していた。

歯科通院もままならぬ事になり、K氏宅へ訪問診療に伺った。K氏はいつも手を合わせ、「ありがとう」と頭を下げるのだった。元気な時は入院先から外出許可をもらい、買い物やヨサコイ祭りを楽しんでいと家人から聞いた。

まもなくKさんが亡くなったと知らせが来た。義歯をお棺に入れるため取りに行きたいという連絡だった。あのダンディなKさんにピッタリの義歯を渡した。落ち着いた頃K氏宅へ焼香に伺った。K氏の遺影は微笑んでいたが側にいた奥さんは、いつになく不機嫌な顔をしていた。葬儀に使おうとしていた生命保険はKさんが前借りしていて何も残っていなかったらしい。

話はそこで終わらない。貯金通帳を開いてみたら何と残高は「500円」だったそうだ。それを聞いた時笑うに笑えなかった。K氏の年金やアルバイト代は入院先の医師、看護師の謝礼の為に使ったらしい。趣味のカメラにも注ぎ込んでいたらしい。家族は事実を知って気が抜けたみたいだった。

後に机の引出しからK氏のメモが見つかり「自分の為に金は使った。スマナイ、ありがとう。我が人生に悔いはなし。」こんな生き方死に方があるものだど妙に感心してしまった。奥さんには悪いけれど、あっぱれな人生だったと思った。「500円」玉を見るとKさんを思い出す。

五月風太郎

第2回麻生まちの灯り

1月26日(木)から28日(土)

マコト神社雪像づくり

1月21日(土)から22日(日)



あさぶ商店街をHPでCHECK!

北海道商店街情報サイト KuLeBa



さっぽろわくわく商店街



あとう よいどう 麻生義造じいさん物語作・ていけい



編集後記

今年は亜麻栽培30年目。「5又路」取材がきっかけになった商店街の取組みが「ふらっくす倶楽部」に継がれ、「あさぶ亜麻保存会」へと橋渡しされます。麻生の魅力を更に高めてくれるでしょう。本年も元気で過ごしてください。

5又路・142号 平成24年1月1日発行

麻生商店街振興組合 ☎ 707-9923

〒001-0045 札幌市北区麻生町6丁目4-16 高橋ビル3階 Eメール: asabusyo@minos.ocn.ne.jp

がんばっぺ! 福島県! 震災地支援の「来い・恋商品券」は1月31日までがご利用期間です